

育南校友會會報

熊本県球磨郡あさぎり町
上北310
南稜高等学校
育友会広報委員会
第62号

卷之三



熊本県立南稜高等学校 増村健

A photograph showing a group of approximately 15-20 people in dark uniforms, likely students or performers, standing in two rows. They are all wearing white face masks. The setting appears to be an indoor hall with wooden walls and a balcony with metal railings visible in the background. The lighting is somewhat dim, and the overall atmosphere is formal.

A photograph showing a man in a dark suit standing at a podium, speaking into a microphone. He is positioned on a stage with a red carpet. To his left is a large wooden structure, likely a piano or organ. To his right is a large arrangement of flowers. In the background, there is a banner with Japanese text. The photo is rotated 90 degrees clockwise.

このことは、身に付けた能力を他人材や地域に還します。これが期待されています。南稜高校の建校の際に、地域や社会を奉引する役となる学の精神「球磨の地に人材の泉を掘る」は、元で生きる人材の育成を意味しています。元でも生きる人材にならぬ愛情を注ぎ、励まししてこられた家族や、嚴しく、または温厚な先生、そして地域の方々へ感謝の気持ちを忘れずに、地域の方々への感謝の気持ちはあります。そして、将来は自立した社会の人材になつてもらいたいと思ひます。

アカデミア活動にも積極的に参加してもらいたいと思います。僕の後ろに道は出来ない道程」という詩は、「僕の前に道はない。僕の後ろに道は出来ない」という歩み道を南稜高校は、できる限りの支援をさせていただきます。そして、南

皆さんは、義政からお祝いを申します。ご家族のお忙しさで、お手紙を書けなかったので、お詫び申し上げます。この度は、南稜高校へ進学された喜びを、お伝えする機会を得て、心より感謝いたします。また、この機会に、これまでの学びと、今後の人生について、お話を伺いたいと思います。

